あなたの街の相談パートナー

人権擁護委員をご存じですか？

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間ボランティアで、地域の方等からの人権相談や、人権の大切さを知ってもらうための普及啓発等の活動を行っています。

相談活動

嫌がらせや差別を受けたり、人権を侵害されたりして困っている方の相談に応じます。秘密は厳守します。

区内の人権擁護委員（50音順・敬称略）

- 池田　明子
- 伊藤　花恵
- 上原憲太郎
- 小澤　清
- 榊　眞理子
- 神保　秀久
- 砂田　厚美
- 髙田　博志
- 髙田　正道
- 松熊　貴代
- 吉田　和代

日　時	第２㈭午後１時30分～３時30分（予約制・電話相談）
費　用	無料
予約・問合せ	総務企画課人権推進係 ☎内線２２７１

「人権」を考える

人権擁護委員　伊藤 花恵氏

人権擁護委員として、一番印象に残る活動は、荒川区内の小学校や中学校で実施している「人権教室」です。

「人権教室」では、いじめのような身近な問題をテーマにしたＤＶＤを見て、子どもたちが自分なりにそれぞれの登場人物がどういう気持ちなのか、どうしたらいじめを防げたのか、といったことを考えます。その後に、自分の意見を発表してもらい、ほかの友達の意見を聞いて、さらに考えを深めてもらいます。

最初にこの「人権教室」を担当したときには、特に小学生の皆さんには「人権」の話は難しいかなと思いました。しかし、どの学校へ行っても、皆さんがとても真剣にＤＶＤを見て、一生懸命に考えて意見を述べ、友達の意見を聞いてさらに考えを深めていく姿に頼もしさを感じています。

残念ながら、子どもだけではなく、大人でもいじめや嫌がらせを苦にして命を絶ってしまう方がいます。しかし、皆さん一人ひとりが自分のこととして考え、また、周囲のいじめに気が付いたときに、それをすぐに知らせてくれることで、早い段階でいじめを防ぐことができると考えます。

私たち人権擁護委員も、電話やLINE（ライン）等で「人権相談」に応じていますので、もし何か悩んでいることがあったら気軽にご相談ください。

普及啓発活動

人権の花運動

子どもたちが協力して花を育てることを通じて、命の大切さや思いやりの心を育むことを目的に実施しています。令和７年度は、第六瑞光小学校と尾久西小学校の子どもたちが取り組みました。

▲第六瑞光小学校の皆さん

▲尾久西小学校の皆さん

人権教室

人権擁護委員が小・中学校を訪問し、人権についての授業を行い、思いやりの心や人権尊重の大切さを一緒に考える取り組みを行っています。

全国中学生人権作文コンテスト

次代を担う中学生が、日常生活で感じた人権に関する作文を書くことを通じて、人権尊重についての理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に実施しています。

令和７年度は、荒川区代表および地区代表として第四中学校２年・竹内柚希さんの「偏見と不平等がない世の中へ」が選ばれました。

子どもたちの人権メッセージ

小学生が、身近にある人権についての考えをメッセージにすることで、人権への理解を深め、人権尊重の意識を育むことを目的に実施しています。令和７年度は、荒川区代表として第六瑞光小学校５年・髙山由羽希さんの作品が選ばれました。

十人十色の大切さ

第六瑞光小学校５年　髙山 由羽希さん

みなさんは、十人十色という言葉を知っていますか。国語辞典で引くと、「考えや好みは、人によって違うということ」と出てきます。つまり、十人十色とは、みんな違ってみんな良いということです。

以前、クラスで意見を出し合っているときにみんなと少し違う意見がありました。私はその意見に対して、少し戸惑いました。その友達の意見と自分の意見が少し違ったからです。私が戸惑っている間に、「意味が分かりません。」という声が聞こえてきました。その発言は、相手の意見を認められなかったから出たのだと思います。たしかに、すべての意見を認めることはすごく難しいことです。けれども、お互いに一つ一つの意見を大切にすることはできるはずです。もし、最初から認めることが難しかったら、まずは相手の意見を大切にすることが良いと思います。人は十人十色だからこそ、いろいろな考えや意見があります。その一つ一つの意見がどれだけ大切なのかを考えて話を聞くと、相手の意見を素直に認めることができると思います。

これからは、相手の意見を大切にし、お互いの意見を認め合えるようにしたいです。そのために私は、相手と分かり合えるようにし、たった一つの考えや意見をそんちょうしていきたいです。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
R70 古紙の配合率70%再生紙を使用しています。